

# 新着図書からおすすめの5冊

(平成24年3月6日掲載)

貸出と予約の開始は**3月6日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**3月13日(火曜日)**です。

## 『本から引き出された本』

マイケル・ディルダ 著

早川書房 刊

ピューリッツァー賞受賞の書評家が50年の読書人生のなかで出会った珠玉の文章をちりばめ、書をひもとくことがいかによく生きることにつながるかを綴る。本とともにある暮らしの素晴らしさを謳う読書案内。

著者紹介：1948年生まれ。コーネル大学より比較文学の博士号を取得。書評家・エッセイスト。93年に批評活動に対してピューリッツァー賞を受賞している。

請求記号： 019/D,78

## 『大胆推理ヒトの進化から探る知性の本質』

井上 豊 著

東京図書出版 刊

本当の「頭の良さ」とは一体なにか。ヒトの進化の過程を追いながら、脳が発達するしくみを分析。知性を生み、育てていく大脳前頭葉を育てることの大切さを説く。

請求記号：141.1/I,57

## 『こころをつよくすることば』

武田 双雲 著

日本出版社 刊

文字の氾濫するインターネット時代だからこそ、ゆっくりと一つのことばと向き合ってみませんか？書道家・武田双雲が、何気ない身近なことばの意味を再検証し、そこに内在する心を浮き彫りにします。著者による書も多数掲載。

著者紹介：1975年熊本市まれ。東京理科大学理工学部卒業。書道家。2001年より書道教室を湘南でスタート。斬新な個展と独自の創作活動で注目され数多くのメディアに出演。作品集に『たのしか』他。

## 『武士のメシ』

永山 久夫 著

宝島社 刊

何をどのように食するのか、食に対する戦略を戦国武将たちに学ぶ時が来た！伊達政宗、毛利元就、徳川家康、鍋島直茂など、戦国の世を全力で走り抜けた19人の食を再現し、レシピや、知られざるエピソードと共に紹介。

著者紹介：1932年福島県生まれ。食文化史研究家。西武文理大学客員教授。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者。著書に『たべもの戦国史』『戦国の食術』『江戸めしのスゝメ』など。

請求記号：383.8/N,25

請求記号： 159/Ta,59

『娯楽と癒しからみた古代ローマ繁栄史』

中川 良隆 著

鹿島出版会 刊

バラマキ政策でもある「パンとサーカス」、そして公共浴場の提供を続けながら長期間繁栄を謳歌した古代ローマ。提供はどのようになされたのか、それがローマの繁栄にどう影響したのかを、疑問提起と解明の形で示す。

著者紹介：昭和22年東京生まれ。東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了。東洋大学工学部環境建設工学科教授。工学博士、技術士(建設部門)。著書に『交路からみる古代ローマ繁栄史』他。

請求記号： 510.9/N,32

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

→[バックナンバーはこちら](#)

→[新着図書の一覧はこちら](#)

→[インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)